

平成22年(2010年)8月に提言「学術誌問題の解決に向けてー[包括的学術誌コンソーシアム]の創設ー」が公表され、学術活動を支える柱である学術誌へのアクセスと学術誌による発信に関する課題および方向性が整理された。また提言にあるコンソーシアムも設立された。しかし、学術情報を取り巻く情勢は電子ジャーナル価格の上昇や国立大学運営費交付金の漸減に伴って変化してきており、アクセスの維持も容易ではなくなってきている。今後の学術情報をどのように取扱い、どのようにオープンアクセスやオープンサイエンスへとつなげていくのか、学術情報にまつわる現状と明らかにされた課題および将来を考えるため学術フォーラムを開催する。



危機に瀕する学術情報の現状とその将来

日時：平成29年5月18日(木) 13:00～18:00

アクセス：日本学術会議(東京都港区六本木7-22-34) 東京メトロ千代田線「乃木坂駅」下車5番出口(青山霊園方面)より徒歩1分

お申込み：日本学術会議ウェブサイト(<https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0003.html>)にて

平成29年5月17日(水)17時までに申込み下さい。参加無料、定員250名、先着順

お問合せ先：日本学術会議事務局 企画課学術フォーラム担当、電話：03-3403-6295

日本学術会議主催
学術フォーラム

PROGRAM

総合司会：大野 英男(日本学術会議第三部会員、東北大学電気通信研究所長・教授)

13:00～13:05 挨拶 大西 隆(日本学術会議会長・第三部会員、国立大学協会副会長、豊橋技術科学大学学長)

13:05～13:20 趣旨説明 大野 英男(日本学術会議第三部会員、東北大学電気通信研究所長・教授)

13:20～13:45 講演 「危機に瀕する学術誌～商業化・電子化・オープン化に伴う諸問題～」
久留島 典子(日本学術会議第一部会員、東京大学史料編纂所教授)

13:45～14:10 講演 「学術誌の安定的・持続的アクセスに向けて」
安達 淳(日本学術会議連携会員、情報・システム研究機構国立情報学研究所教授)

14:10～14:35 講演 「学術情報の現状－研究者を取り巻く状況－」
松尾 由賀利(日本学術会議第三部会員、法政大学理工学部教授)

14:35～15:00 講演 「学術情報の現状－大学経営の立場から－」
植木 俊哉(東北大学理事)

15:00～15:25 講演 「国立大学と学術誌問題」
大西 隆(日本学術会議会長・第三部会員、国立大学協会副会長、豊橋技術科学大学学長)

15:25～15:35 -休憩-

15:35～16:00 講演 「デジタル時代の科学出版：オープン、ネットワーク化、データ駆動」
Anders Karlsson(エルゼビア グローバル・アカデミック・リレーションズバイスプレジデント)

16:00～16:25 講演 「学術情報基盤の整備推進に向けた文部科学省の取組について」
原 克彦(文部科学省研究振興局参事官(情報担当))

16:25～16:50 講演 「これからの学術情報－オープンサイエンスを巡って－」
土井 美和子(日本学術会議第三部会員、国立研究開発法人情報通信研究機構監事)

16:50～17:05 -休憩-

17:05～17:50 総合討論 「学術情報のエコシステム－そのあるべき姿とは－」
総合討論司会：小松 久男(日本学術会議第一部会員、東京外国語大学特別教授)
パネリスト：講演者全員

17:50～18:00 まとめ 大政 謙次
(日本学術会議第二部会員、東京大学名誉教授、愛媛大学大学院農学研究科客員教授、高知工科大学客員教授)

18:00 閉会